

あせみかわかつせいかすいしんいんかい

汗見川活性化推進委員会

～集落拠点を中心に、住みたい「汗見川」の取組！～



平成20年5月から旧小学校を宿泊施設として運営



地元製造会社と協同の商品

経緯

- 昭和47年に、地域を流れる川「汗見川を美しくする会」を結成し、次世代につなぐ景観づくり、人づくりを開始。
- 平成13年より、過疎・高齢化や鳥獣被害が進む中、地域住民が地域の継続と活性化を目指した交流事業や景観活動を開始。

取組内容

- 植栽伐採による河川沿いの景観整備やツツジツアー、地域運動会などを実施。
- 廃校活用の体験宿泊施設「汗見川ふれあいの郷清流館」でのソバ打ち、ピザ焼きなどの農林業体験、都市農村交流、景観づくり活動などを実施。
- 地域のシソ(全量買取)を活用したアイス、ドリンクの商品化。

活動の効果

- 地域挙げての活動内容は、多くのテレビ取材などで情報発信され、視察も年間30団体を超えるなど地域では大きな波及効果を生んでいる。
- 宿泊事業と特産品事業のシソ加工品での収益向上を目指す取組みを展開、事業推進員を増員し新たな挑戦が始まっている。
- 飲み会の場づくりや共同作業などを通じて、移住者の地域活動への参加がスムーズにでき、U・Iターンをする人や増加、高齢化率の低下に結びついている。

応募団体からのアピール・メッセージ

過疎、高齢化が進む中、「できる人ができる時に元気な内に何かやっといこう」との声が、活動を前に進めるきっかけになりました。

住民が主体的に拠点事業に取り組むことにより地域人材の育成、地域の支え合いや魅力ある地域を継続する事で、新たな人材の受入に結びつけると共に、住民の生きがいをづくりの推進を目指します。地域ファンクラブ「ちっとえいぜよ汗見川」会員募集中！